

研究課題の名称

骨折による入院で回復期病棟へ再入院された症例の分析

研究の目的及び意義

本研究は、在宅または在宅に準ずる施設において、骨折を伴う転倒をした患者の再入院までの日数、介護度、退院前訪問指導、退院後のサービスなどの関連を調査し、リハビリテーションの質の向上につなげることを目的とする。

研究対象者の選定方針

当院開設以後（2015年4月）、当院に2回以上入院した患者を対象とする。2回目の入院が、転倒による骨折ではない症例（脳血管疾患、変形性関節症による置換術、腰部脊柱管狭窄症、頰椎症性脊髄症）、再手術又は別の疾患の発症で急性期病院へ転院され、再入棟した患者、入院中に院内で他の回復期疾患を発症した症例は除外とする。

研究予定期間

承認日（2019年10月28日） から 2020年3月14日